

平成27年中の火災概況

(1) 火災件数について

本市における平成27年中の火災件数は94件で、前年と比べ17件減少しました。

(2) 損害額について

損害額は8,624万円で、前年と比べ5,828万円減少しました。

(3) 死者について

死者は4人で、前年と同数でした。

死者の発生した火災の種別は、いずれも建物火災でした。

(4) 出火原因について

火災の発生を原因別にみると、「放火」26件（放火の疑いを含む。）が最も多く、次いで、「たばこ」14件、「こんろ」9件（うち天ぷら油3件、グリル3件）の順でした。

(5) 住宅用火災警報器について

住宅火災（併用住宅、共同住宅を含む。）は36件で、そのうち住宅用火災警報器の設置が確認できた件数は15件でした。

また、住宅用火災警報器を設置していたことで大きな火災にならなかった奏功事例が6件ありました。

平成27年 火災発生概況

区分		年別		平成27年		平成26年		増減		
火災件数				94件(0)		111件(0)		-17件(±0)		
損害額				86,243千円		144,523千円		-58,280千円		
火災種別	建物			64件(0)		73件(0)		-9件(±0)		
	林野			0件(0)		0件(0)		±0件(±0)		
	車両	自動車	4件(0)	4件(0)		12件(0)	12件(0)		-8件(±0)	-8件(±0)
		鉄道		0件(0)			0件(0)			±0件(±0)
	船舶			0件(0)		1件(0)		-1件(±0)		
	航空機			0件(0)		0件(0)		±0件(±0)		
	その他の			26件(0)		25件(0)		+1件(±0)		
焼損棟数	合計			75棟		104棟		-29棟		
	全焼			6棟		18棟		-12棟		
	半焼			4棟		11棟		-7棟		
	部分焼			25棟		31棟		-6棟		
	ぼや			40棟		44棟		-4棟		
建物焼損床面積				1,139 m ²		1,888 m ²		-749 m ²		
建物焼損表面積				71 m ²		239 m ²		-168 m ²		
林野焼損面積				0 a		0 a		±0 a		
人的被害	死者			4人		4人		±0人		
	負傷者			23人		29人		-6人		
り災世帯数	合計			57世帯		65世帯		-8世帯		
	全損			6世帯		17世帯		-11世帯		
	半損			5世帯		3世帯		+2世帯		
	小損			46世帯		45世帯		+1世帯		
り災人員				123人		144人		-21人		
1日平均	出火件数			0.26件		0.30件		-0.04件		
	損害額			236千円		396千円		-160千円		
	建物焼損床面積			3.12 m ²		5.17 m ²		-2.05 m ²		
火災1件当たり平均損害額				917千円		1,302千円		-385千円		
建物火災1件当たり焼損床面積				18 m ²		26 m ²		-8 m ²		
出火率(人口1万人当たり)				2.60件		3.05件		-0.45件		

※ ()内は爆発件数

原因別火災発生状況

原因別	月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計		94	3	8	11	8	7	11	7	9	7	7	7	9
たばこ		14	1	1	1		1			4	2	1	1	2
こんろ		9		1	3	1	2		1				1	
こんろのうち天ぷら		3			1	1							1	
こんろのうちグリル		3			1		1		1					
かまど		0												
風呂かまど		0												
炉		0												
焼却炉		1										1		
ストーブ		5		2	1								1	1
こたつ		0												
ボイラー		0												
煙突・煙道		1											1	
排気管		1			1									
電気機器		3		1						1			1	
電気装置		1								1				
電灯・電話等の配線		2						1						1
内燃機関		0												
配線器具		5	1	1				1	1		1			
火あそび		1											1	
マッチ・ライター		0												
たき火		2						1				1		
溶接機・切断機		2							1					1
灯火		3						1			1	1		
衝突の火花		1										1		
取灰		0												
火入れ		2		1								1		
放火		24	1		2	7	1	6	2	2				3
放火の疑い		2					1			1				
その他		13		1	3		2	1	1		2	1		2
不明・調査中		2							1		1			

住宅用火災警報器等設置状況

用途別	状況	設置あり		設置無し	設置不明
		作動有り	作動無し		
住宅		10	3	7	16
併用住宅		0			
共同住宅		5	2	3	

※消防法第17条による自動火災報知設備やスプリンクラー設備を設置する場合を除く

救急出動概況

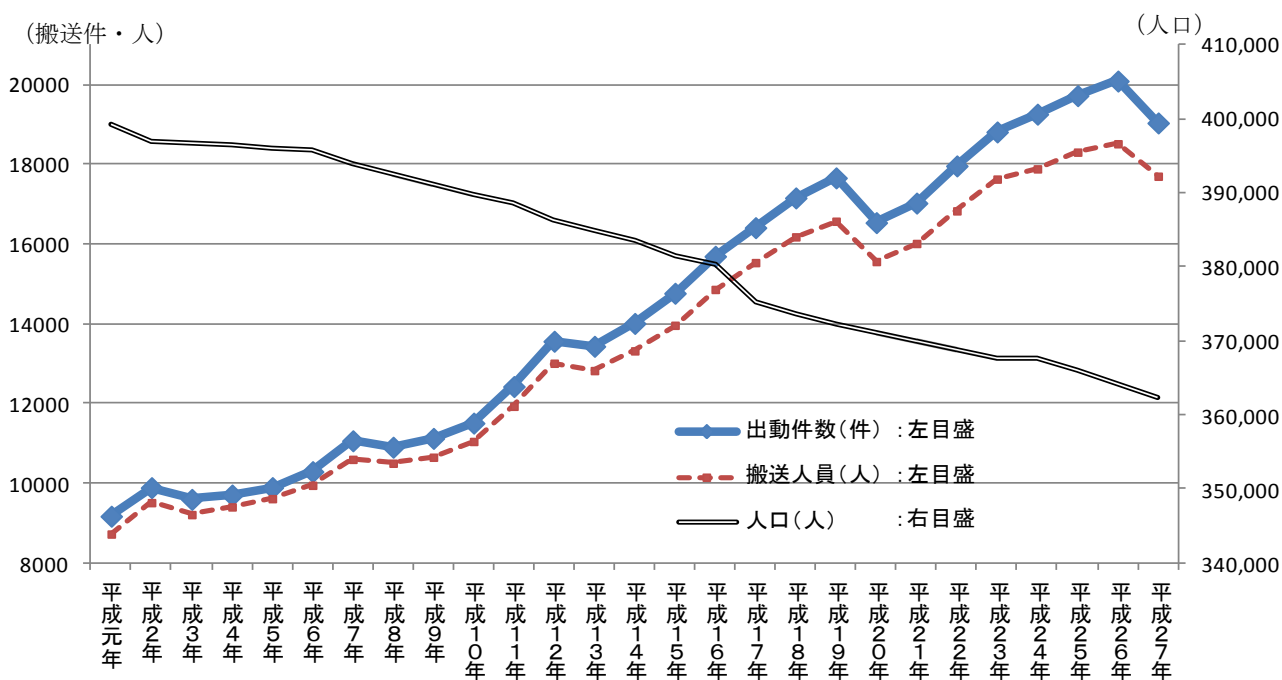
和歌山市消防局

1 救急出動件数 7年ぶりに減少

平成27年中の救急出動件数は、前年（平成26年）に比べ1,051件減の19,040件、また、搬送人員も815人減の17,703人でした。

救急出動件数が、前年より減少したのは、平成20年以来、7年ぶりとなりました。

1日平均52.2件の救急出動で、和歌山市民19人に一人が搬送されたこととなります。



※ 人口は、和歌山市のホームページから（12月現在）

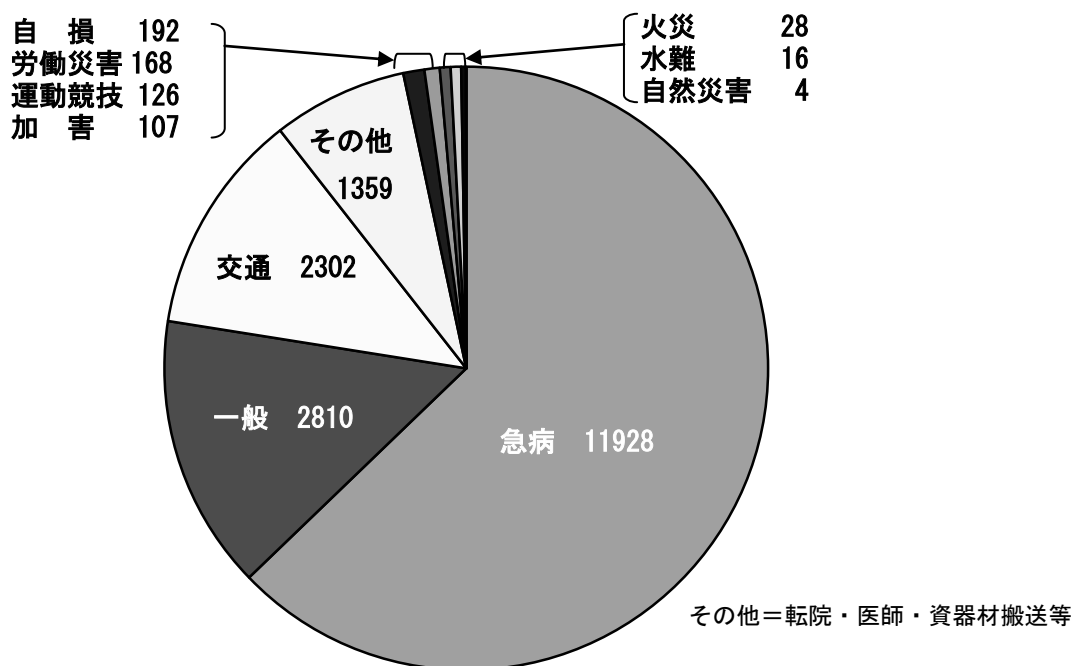
年 別	出動件数	搬送人員	年 別	出動件数	搬送人員
平成元年	9,173	8,726	平成15年	14,767	13,963
平成2年	9,890	9,514	平成16年	15,695	14,863
平成3年	9,596	9,214	平成17年	16,413	15,536
平成4年	9,705	9,407	平成18年	17,159	16,182
平成5年	9,891	9,614	平成19年	17,662	16,574
平成6年	10,292	9,949	平成20年	16,539	15,563
平成7年	11,066	10,600	平成21年	17,029	16,016
平成8年	10,904	10,503	平成22年	17,962	16,834
平成9年	11,126	10,653	平成23年	18,814	17,631
平成10年	11,509	11,049	平成24年	19,260	17,888
平成11年	12,427	11,931	平成25年	19,724	18,307
平成12年	13,563	13,011	平成26年	20,091	18,518
平成13年	13,436	12,827	平成27年	19,040	17,703
平成14年	14,010	13,322			

2 事故別件数及び傷病者の年齢

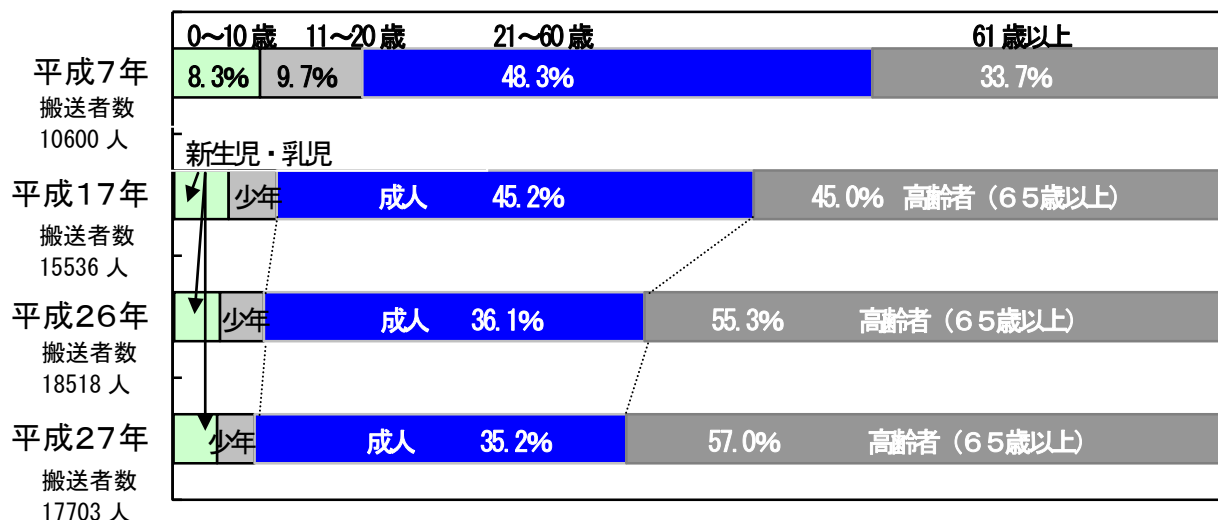
救急出動全体の63%が「急病」での出動となっており、続いて「一般負傷」「交通事故」の順となり、この3種別で、救急出動の約90%を占めています。

昭和38年（1963年）に救急業務が法制化された後、和歌山市において、平成26年に初めて「一般負傷」の出動が「交通事故」の出動を上回りましたが、今年も同様でした。このことは、当市だけではなく、全国的な傾向となっています。

また、搬送者を年齢区分で分けてみると65歳以上の高齢者の割合が、57.0%と半数以上を占めています。



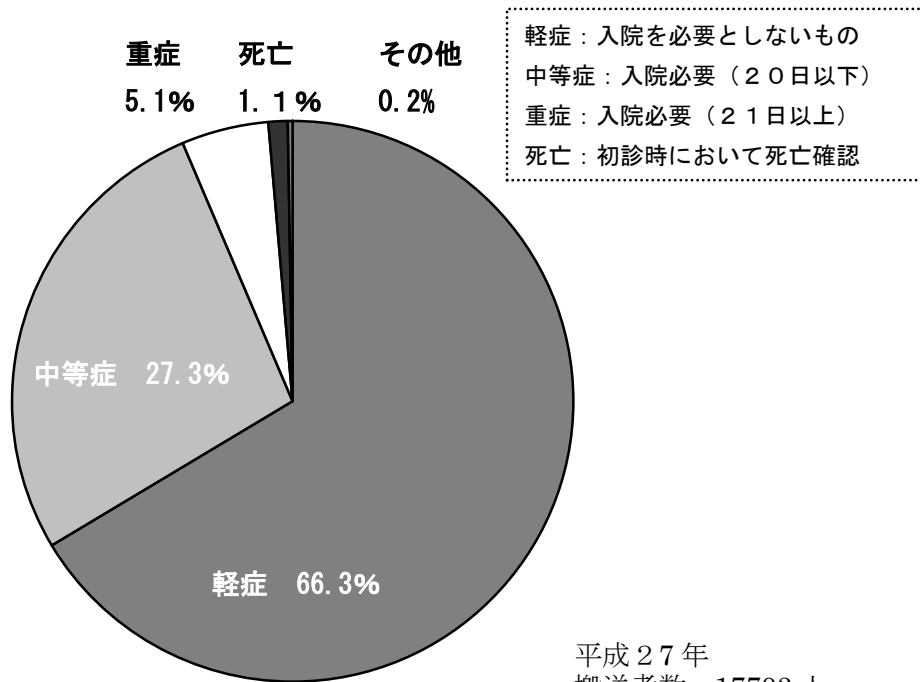
平成27年 事故別出動件数



年齢別傷病者の割合（前年・10・20年前比較）

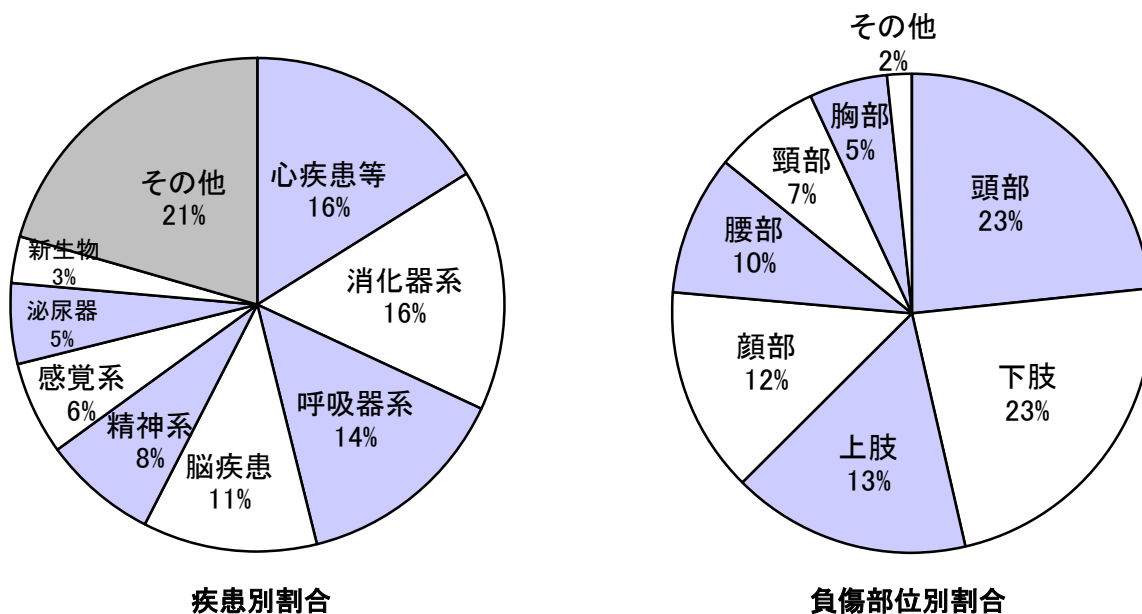
3 傷病者の状況

搬送した傷病者を程度別に分類すると軽症者が、全体の66.3%を占めています。



傷病者の程度別分類割合

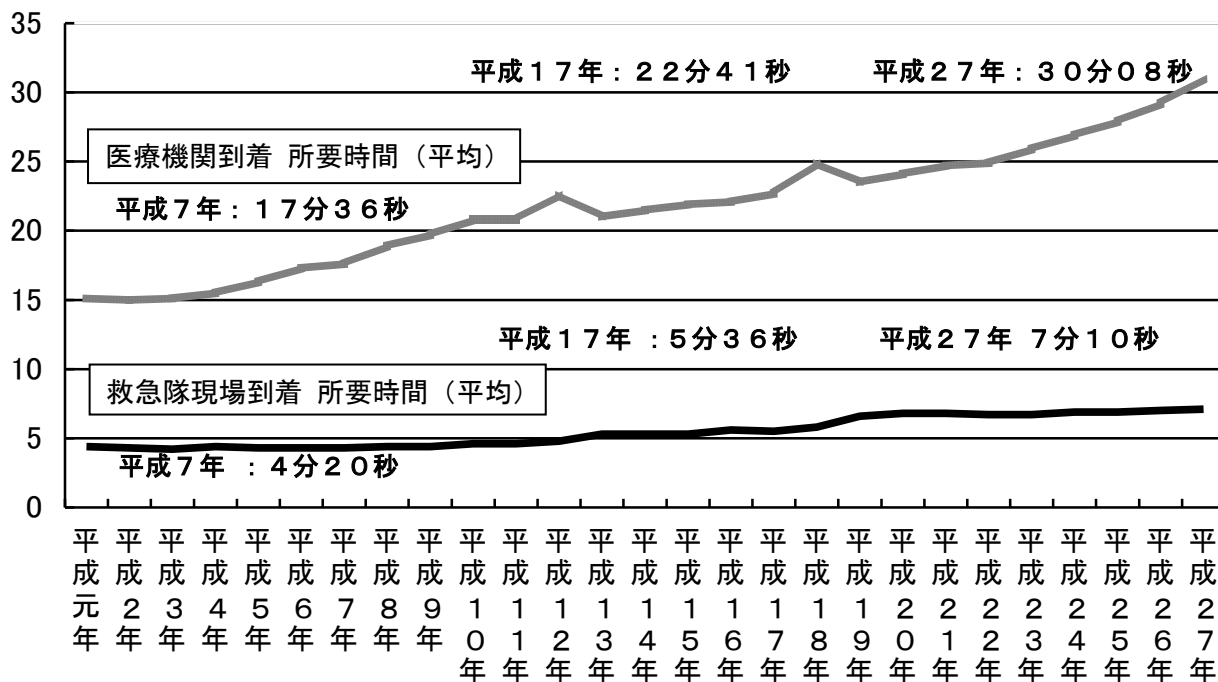
搬送した傷病者の傷病名を疾患（急病等）、外傷（交通事故等のケガ）別に分けると疾患別では、心疾患・消化器系疾患、呼吸器疾患、脳疾患の順となっており、一方、負傷した部位別では、頭部・下肢、上肢、顔部の順となっています。（疾患別では、症状や徴候等診断名不明確を除いています。）



4 救急隊の現場到着時間及び医療機関収容時間

平成27年中の平均救急隊現場到着時間は、7分10秒と昨年と比べ9秒遅くなっています。また、平均医療機関収容時間が、昨年より55秒遅れ30分08秒となっています。

なお、10年前（平成17年）と比べると、救急隊現場到着平均時間は、1分34秒、平均医療機関収容時間は、7分27秒遅くなっています。



5 医療機関の受入れ状況

一人の傷病者に対して、搬送医療機関を問い合わせ（交渉）する回数の平成27年中の平均は、1.36回となっています。この数字だけをみると直ぐに搬送医療機関が決定しているように思いますが、事例により15回も問い合わせを行うこともあります。

ただ、重症以上に限ると1.10回と比較的スムーズな受け入れとなっています。

問合回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	13	15	計
軽症	8724	1783	692	321	119	46	24	16	7	2	1	1	11736
中等症	4151	441	150	62	27	9	1		1	1			4843
重症	837	49	17	4	1	1	1						910
死亡	205	4											209
その他	3	2											5
計	13920	2279	859	387	147	56	26	16	8	3	1	1	17703

6 救急隊の処置

病院前救護をより一層強化し、救命率の向上や後遺症の軽減を図ることを目的に、救急救命士の処置範囲が拡大され、

心肺停止前の重度傷病者に対する

- ①血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与
- ②静脈路確保と輸液（いわゆるショックの状態の方）

の2項目について、当局では、平成26年8月1日から運用を開始しました。

平成27年中、上記①の血糖測定は、89件、低血糖の方へのブドウ糖を投与は26件で、上記②の静脈路確保と輸液は、11件でした。

上記①のブドウ糖を投与した26件のうち、25件で意識状態の改善、上記②の輸液を実施した11件のうち、5件において血圧の上昇や意識状態の改善が認められました。

今後も適応症例で、確実な処置ができるように日頃からの訓練を強化する必要があります。

7 普及講習

平成27年に実施した普及講習は、295回で受講者数は、8,667人でした。

このうち、救命講習（3時間以上の講習）受講者は、3,161人でした。当市では、平成8年から開始した救命講習の延べ受講者は、約54,000人にも及び和歌山市民約7人に一人の割合で受講したことになります。

また、応急手当普及員講習・再講習は、4回86人の受講者でした。

8 救命率

平成27年に心肺停止の状態で搬送した傷病者は378人で、心肺停止の原因が、心原性（心臓に原因がある）の方は192人、このうち、市民（家族・同僚等）の目撃（倒れるのを見た、音がしたので振り返ったら倒れていた等）がある方は54人でした。

さらに、この54人のうち、市民が応急手当を実施した方（26人）の社会復帰（倒れる前の状態に復帰）は4人で、社会復帰率にすると15.3%で、全国平均（10.8%：平成26年）より高くなっています。

9 救急ワークステーション

日本赤十字社和歌山医療センター高度救命救急センターの協力を得て、救急ワークステーションの運用を実施しています。（平成26年6月から）

平成27年中のドクターカー運用については、平日・日勤帯（9時から17時30分）での、派遣型・ピックアップ型の運用で、合計37件の出動がありました。37件の内訳は、急病33件、交通2件、一般負傷1件、その他1件となっています。

また、ドクターカーとして活動したのは29件でした。活動した現場から搬送された29人

の傷病者のうち、重症以上は11人、中等症11人、軽症7人でした。

ドクターカー運用については、入電（119番通報）段階で、通常救急隊とともにドクターカーを出動させることを容易にするため、ある言葉に合致した場合に出動させる方法（キーワード方式）で実施していますが、このキーワードと実際の出動内容を検証し、修正していく必要があると考えています。

<平成27年ドクターカー出動・要請基準>

- 1 40歳以上でおおむね10分以上続く胸痛・背部痛の場合
- 2 重度の呼吸不全・循環不全を疑う場合
- 3 多数傷病者の発生を疑う場合
- 4 重症外傷を疑う場合
- 5 指令課員が、切迫した通報と判断した場合
- 6 現場へ到着した救急救命士がドクターカーを必要と判断した場合

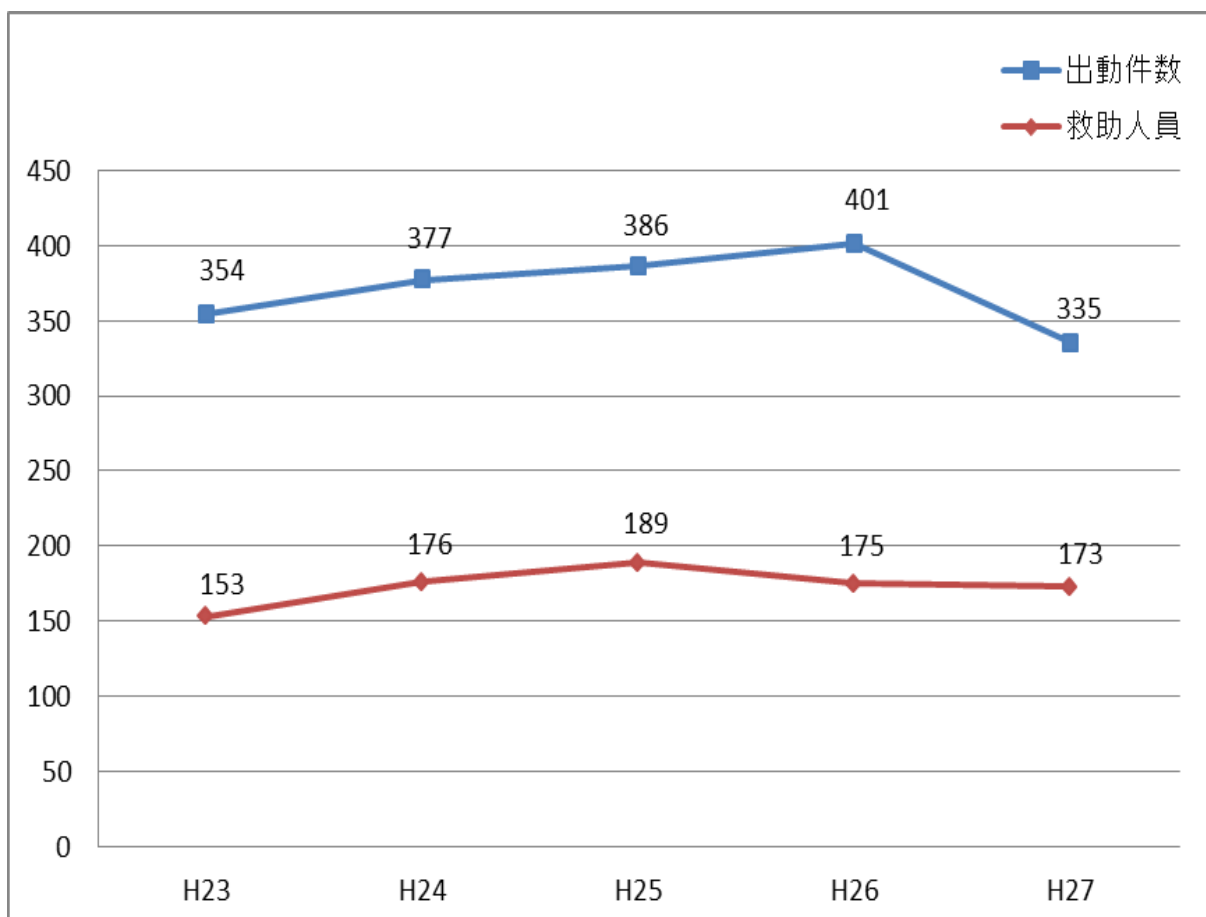
平成27年中の救助出動の概要

1 救助出動件数及び救助人員状況

本市における平成27年中の救助出動件数は335件で、前年と比べ66件減少しました。

救助人員は173人で、前年と比べ2人減少しました。

過去5年間の状況



年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
救助出動件数(※1)	354(280)	377(318)	386(319)	401(335)	335(289)
救助人員(※2)	153(144)	176(169)	189(182)	175(160)	173(165)

※1()内は、火災以外の救助出動件数

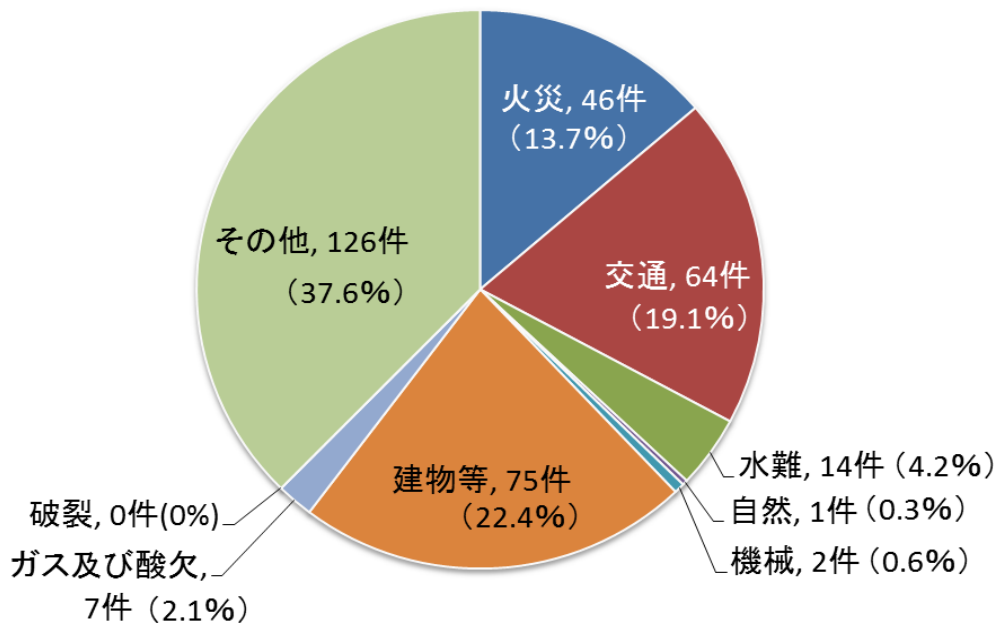
※2()内は、火災以外の救助人員数

2 事故種別ごとの救助出動状況

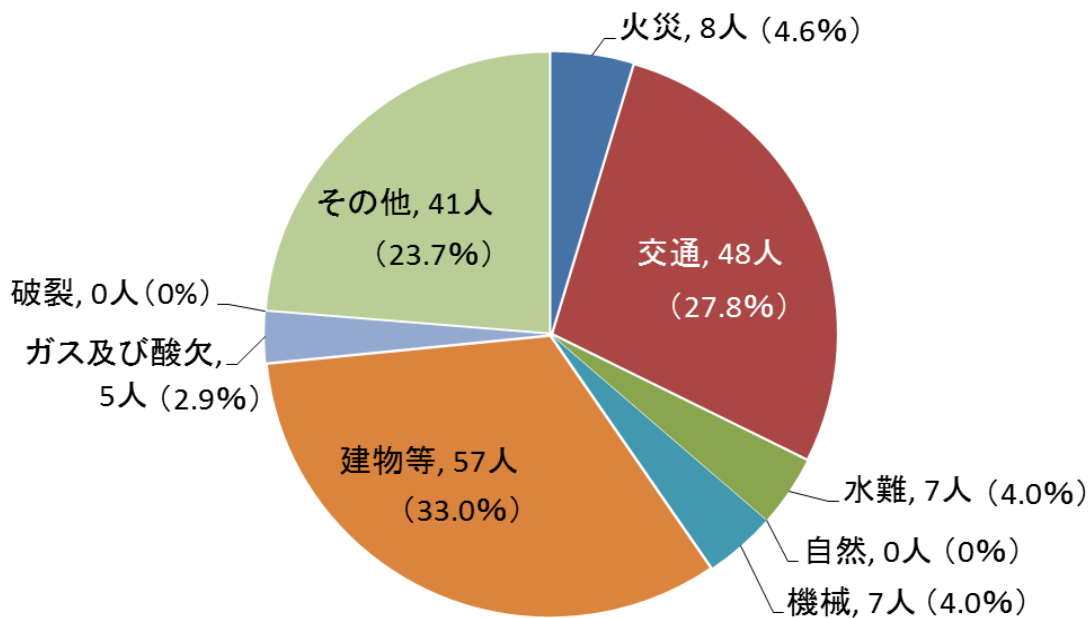
事故種別ごとの救助出動については、火災が46件、火災以外が289件、市域外にも5件出動しました。

事故種別ごとの救助人員については、火災が8人、火災以外が165人、建物等による事故が57人と最も多く、全体の33.0%でした。

(1) 救助出動件数



(2) 救助人員状況



(3) 月別状況

		火災	交通	水難	自然	機械	建物等	ガス及び酸欠	破裂	その他	合計
1月	出動件数	2	4	1			10			10	27
	活動件数		2	1			5			4	12
	救助人員		4	1			5			4	14
2月	出動件数	2	5			1	6			17	31
	活動件数		2			1	6			4	13
	救助人員		4			6	6			5	21
3月	出動件数	4	3			1	3	1		12	24
	活動件数		2			1	3			3	9
	救助人員		2			1	3			3	9
4月	出動件数	3	3	1			3			11	21
	活動件数	1	2	1			3			3	10
	救助人員		2	1			3			3	9
5月	出動件数	5	8	2			3	2		3	23
	活動件数		3	1			3	1		2	10
	救助人員		4				3	1		2	10
6月	出動件数	5	6	1			10			7	29
	活動件数		4	1			7			5	17
	救助人員		5	1			7			5	18
7月	出動件数	3	6	2			4			13	28
	活動件数	2	3	2			2			5	14
	救助人員	2	4	2			2			5	15
8月	出動件数	5	8	4			8	1		13	39
	活動件数	1	4	1			7			4	17
	救助人員	1	6	1			7			4	19
9月	出動件数	4	5				11	1		11	32
	活動件数	2	3				9			3	17
	救助人員	2	5				9			3	19
10月	出動件数	2	4	1			7			14	28
	活動件数		4				7			5	16
	救助人員		5				7			5	17
11月	出動件数	5	6				6	1		12	30
	活動件数	1	4				3			1	9
	救助人員	1	3				3			1	8
12月	出動件数	6	6	2	1		4	1		3	23
	活動件数	3	3	1			2	1		1	11
	救助人員	2	4	1			2	4		1	14
合計	出動件数	46	64	14	1	2	75	7		126	335
	活動件数	10	36	8		2	57	2		40	155
	救助人員	8	48	7		7	57	5		41	173
出動人員(※1)		1,394	864	270	12	24	937	81	0	2,117	5,699
出動車両台数(※2)		368	243	76	3	6	247	23	0	578	1,544

※1 各事故種別ごとに出動した人員の総数

※2 各事故種別ごとに出動した車両の総数

(4) 覚知時刻別出動件数

	火災	交通	水難	自然	機械	建物等	ガス及び酸欠	破裂	その他	合計
00 ~ 01	1	1				2			7	11
01 ~ 02		2							4	6
02 ~ 03	1					1			1	3
03 ~ 04	2	1				1			1	5
04 ~ 05	2					2				4
05 ~ 06	1	3	1	1		2				8
06 ~ 07	3	6				2			3	14
07 ~ 08	1	3	1						6	11
08 ~ 09	3	7	2			4	1		5	22
09 ~ 10	2	2				7			4	15
10 ~ 11	2	1	1			7			6	17
11 ~ 12	3	2				4			7	16
12 ~ 13	1	4				5			4	14
13 ~ 14	2	2				1	1		7	13
14 ~ 15		3				1			8	12
15 ~ 16	2	2			1	5			9	19
16 ~ 17	5	4	2			3	1		9	24
17 ~ 18	3	2				5	1		7	18
18 ~ 19	4	6	1			2	1		5	19
19 ~ 20	1	3	2			3	1		11	21
20 ~ 21	3	1			1	4			6	15
21 ~ 22	2	2	1			7			6	18
22 ~ 23	1	3				4	1		4	13
23 ~ 24	1	4	3			3			6	17

(5) 発生場所別救助事故状況

	火災	交通	水難	自然	機械	建物等	ガス及び酸欠	破裂	その他	合計
屋内	住居	28				71	2		48	149
	他屋内	13			1	2	2		8	26
道路	高速道路		7						1	8
	他道路		48						2	50
水面	内水面		7						4	11
	外水面		7	1					3	11
山岳					1				6	7
その他の屋外	5	9				2	3		45	64
地下										
その他									9	9
合計	46	64	14	1	2	75	7	0	126	335

(6) 救助人員の傷病程度状況

	火災	交通	水難	自然	機械	建物等	ガス及び酸欠	破裂	その他	合計
死亡	3		6			8	1			18
重症	3	3	1			1			5	13
中等症	2	13				15			5	35
軽症		25			1	22	2		23	73
その他		3			6	4			2	15
不搬送		4				7	2		6	19
合計	8	48	7	0	7	57	5	0	41	173

3 方面別・地区別救助事故発生状況

方面別	地区別	出動件数		方面別	地区別	出動件数		
第1方面	本町	6	(4)	第3方面	宮	16	(16)	
	城北	6	(6)		四箇郷	9	(7)	
	広瀬	12	(11)		西和佐	10	(6)	
	雄湊	12	(12)		和佐	4	(4)	
	大新	11	(9)		小倉	5	(3)	
	新南	6	(5)		岡崎	8	(7)	
	吹上	4	(4)		東山東	3	(3)	
	砂山	4	(3)		西山東	4	(4)	
	宮北	11	(10)		小計	59	(50)	
	中之島	5	(3)		第5方面	湊	7	(7)
	芦原	5	(4)			野崎	13	(13)
	今福	2	(2)			松江	6	(3)
	小計	84	(73)			木本	13	(12)
	第2方面	高松	4			(3)	貴志	16
雑賀		11	(10)	西脇		17	(13)	
雑賀崎		3	(2)	加太		7	(7)	
和歌浦		9	(9)	小計	79	(69)		
宮前		10	(7)	第6方面	楠見	19	(17)	
三田		4	(2)		有功	10	(8)	
名草		13	(11)		直川	1	(1)	
安原		4	(4)		川永	8	(6)	
田野	0	(0)	紀伊		9	(9)		
小計	58	(48)	山口		3	(3)		
小計	58	(48)	小計		50	(44)		
出動件数合計		335 (289)		市域外		5 (5)		

※()内は、火災以外の出動件数

4 市域外における救助出動状況

事故種別	出動件数	救助人員	延べ出動人員	延べ出動車両
交通	3件	1人	58人	16台
その他	2件	1人	35人	10台

5 高速道路における救助出動状況

事故種別	出動件数	救助人員	延べ出動人員	延べ出動車両
交通	7件	4人	133人	36台
その他	1件	0人	18人	5台

6 救助訓練実施状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
体力及び 基礎練成	440	441	442	450	511	470	459	483	469	519	499	504
	2,083	1,900	2,020	2,058	2,295	2,101	2,062	2,139	2,070	2,306	2,222	2,253
	607	569	599	747	716	654	635	691	680	733	694	697
ロープ 結索法 訓練	4	9	7	6	6	11	12	9	8	4	16	6
	17	41	28	26	27	58	47	52	42	16	80	37
	6	15	14	11	12	22	24	14	13	6	32	12
救助訓練	54	67	134	193	143	84	103	86	65	76	99	66
	267	311	621	968	636	378	468	373	287	367	454	292
	153	184	366	524	385	243	313	227	178	204	263	186

※上段:実施回数、中段:実施延べ人員、下段:実施延べ時間